

山田みやこの活動報告

令和2年1月25日(土)

市川房枝政治参画フォーラムに参加②

会場 東京婦選会館

「日本の政治を問う～国会は今～」

講師 毎日新聞大阪編集局次長 佐藤 千矢子氏

①政局の現状と行方

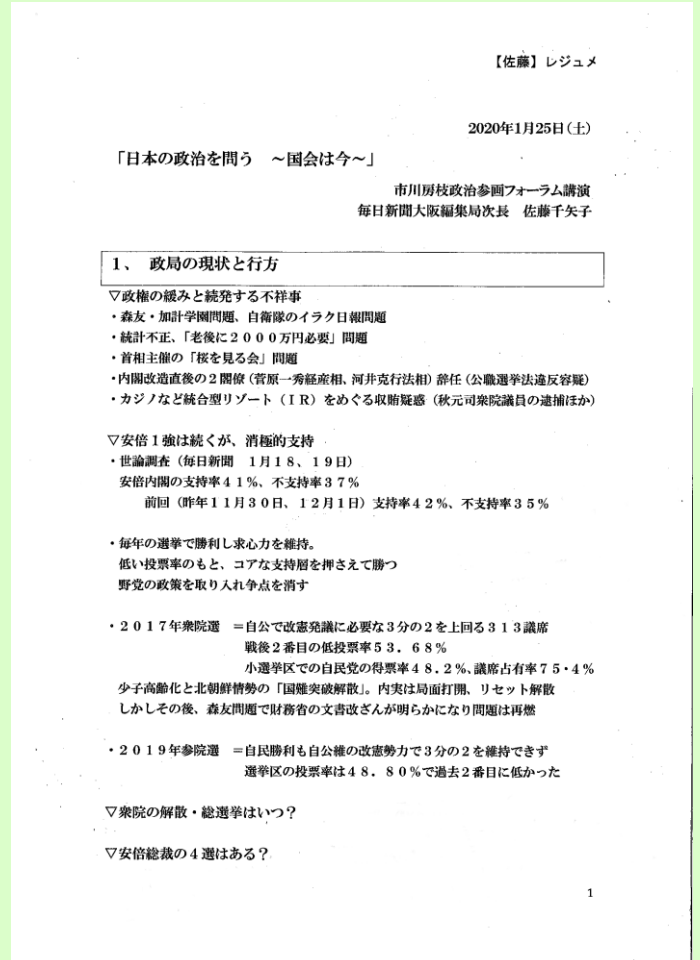
- ・ 政権の緩みと続発する不祥事
森友・加計学園問題、自衛隊のイラク日報問題
老後2,000万円問題、桜を見る会
内閣改造直後の閣僚2名辞任
カジノ(IR)を巡る収賄疑惑
- ・ 安倍一強は続くが消極的支持
低投票率でコアな支持層から得票。野党(リベラル)思想を取り入れて争点を消す。
- ・ 衆議院の解散総選挙はいつか
都知事選とダブル? 浮動票はアンチ安倍。オリンピック・パラリンピック後?(五輪花道論 9/7)
任期終了まで1年を残して解散?
1)安倍の下で 2)退陣後ポスト安倍で
- ・ 安倍総裁の4選はあるのか
安倍はやらないと言っているが、麻生はやらせたい。岸田?しかし、トランプとの関係がある。
- ・ ポスト安倍は誰か
岸田、アンケートではトップの石破。

②強すぎる首相官邸と軽視される国会

- ・ 安倍政権の功罪
日米関係の安定、議論が少ない、国会軽視、政治不信、アベノミクス
内政は次々に看板を掛け変えながら、野党の政策も取り組む
- ・ 強すぎる首相官邸
官僚に対して内閣人事局600人で、幹部の人事権を握る。
候補者の公認権、政党助成金、人事権を握る。3年3ヶ月の民主党政権の失敗と、野党の内輪もめで遠く政権交代。

③緊張感のない国会背景

政権交代の可能性が低い。行政監視機能の低下、野党の調査能力の低下。共産党頼り。



④安倍政権のレガシーは何か

日韓、日中関係？アベノミクス？東京オリンピック・パラリンピック？

⑤政治とメディア

政権との距離、二極化するメディア

1月21日の朝刊社説(首相の施政方針演説)

【朝日】「説明放棄」は許されぬ

【毎日】五輪頼みでごまかすのか

【読売】先送りはせず長期的課題に挑め

【日経】政策も倫理も並行して議論する国会に

【産経】対中政策の説明が足りぬ

安倍政権を近距離から見てきた情報に納得。

